

情報通信研究機構  
高度通信・放送研究開発委託研究

令和4年度新規委託研究の公募（課題226）  
応募の際の諸注意事項

情報通信研究機構  
イノベーション推進部門  
委託研究推進室



## 1. 今回公募する案件

課題番号	研究開発課題名	研究開発予算の上限	研究開発期間	採択件数
226	データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発	各年度、1件当たり総額10百万円（税込）を上限	2022年度（契約締結日）から2024年度までの最長3年間	最大10件

## 2. 応募資格

- 原則として、日本国内で登記されている企業、大学等であって、日本国内に本公募に係る技術開発のための拠点を有するものであること。
- 当該研究開発課題に関する技術又は関連技術についての研究実績を有し、かつ当該研究業務を遂行するために必要な研究組織、人員等を有する機関であること。
- 本委託研究を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ資金等について十分な管理能力を有していること。
- 機構が委託するうえで必要とする措置を適切に遂行できる体制を有すること。
- 研究成果の公開、標準化活動等に積極的な貢献が可能であること。
- 当該研究業務を遂行する人員の中に、機構のパーマネント職員又は有期雇用職員が含まれないこと。また、機構を退職後1年未満の者が含まれる場合には、機構において当該研究開発課題の企画・立案に関与していないこと。
- 実際の研究開発を実施するにあたり、機構の自主研究部門と具体的な連携をはかれること。  
同一人物が、同一の研究開発課題に関する複数の提案に研究員として含まれる場合、全ての提案が無効となりますので、注意してください。
- 提案書類の提出期限の日から採択候補決定までの期間に、当機構から指名停止措置要領に基づく指名停止措置を受けている期間中でないこと。また、総務省又は他府省等における指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

(次ページに続く)

## 2. 応募資格

(前ページからの続き)

なお、提案時に受託中の課題を含め、機構及び他の機関の委託研究の受託者となる期間が重複していても応募できます。ただし、複数の委託研究課題を同時期に受託することとなった場合は、各研究者のエフォート率（研究者の全仕事時間に対する当該研究の実施に必要なとする時間の配分割合（%））の合計が100%を超えないよう、適切な研究開発実施体制としてください。

### 3. 応募の単位

- 単独の研究機関が応募することも、複数の研究機関が共同して応募することも可能です。但し、単独の研究機関が応募する場合は、必ず連携研究者、研究実施協力者等を含めてください。
- 複数の機関が共同して応募する場合
  - **代表提案者**（代表研究責任者が所属する法人）が、**共同提案者**（法人）の提案を含め、提案全体を取りまとめて応募してください。また、研究グループを代表して機構との連絡や調整等を行ってください。
  - 各研究機関の研究分担内容を明確にしてください。
  - 「応募提出期限」から「委託期間終了」まで、研究グループを構成する研究機関の変更は、原則としてできません。
  - NICTと委託契約を締結しない（委託経費を主体的に使用しない）研究機関が、「連携研究者」又は「研究実施協力者」として研究に参加することも可能です。詳細については「事務マニュアル（令和4年度版）」の「3.3 研究開発体制」を参照してください。
    - ◆ **連携研究者**：研究資金を受けずに委託研究の一部を分担して研究を実施。
    - ◆ **研究実施協力者**：研究そのものは実施しないが、委託研究に協力するための研究支援業務を実施。例えば、実証実験場所を提供する地方自治体等。

## 4. 受託者の選定

- 提案者から提出された機構所定の提案書を、外部有識者で構成される「高度通信・放送研究開発委託研究評価委員会」（以下「評価委員会」という。）において審査し、その結果を踏まえて機構が委託研究の受託者を決定します。

### (1) 評価委員会での審査

評価項目は次のとおりです。

- ① 研究開発の目標・計画・方法
- ② 研究開発の実施体制・予算計画
- ③ 成果の展開・普及
- ④ 研究開発の必要性・重要度

### (2) 機構における審査、受託者選定

- ・ 機構の観点からも審査を行い、受託者の候補を選定します。
- ・ 選定の結果は、機構から代表提案者に通知します。
- ・ 選定された受託者（代表提案者および共同提案者）の名称、提案課題及び提案の要旨を機構のWebサイトにて公表します。

### (3) 追加資料等

- ・ 受託者選定に関する評価において、必要に応じて追加資料の提出を求めることがあります。

## 5. 委託契約

- 必要な契約条件が合致しない場合には、委託契約が締結できない可能性がありますので、応募に際しては、事前に委託契約書ひな形\*1及び委託契約約款\*2を確認してください。

\*1: [https://www2.nict.go.jp/commission/keiyaku/r04/r04\\_keiyaku.pdf](https://www2.nict.go.jp/commission/keiyaku/r04/r04_keiyaku.pdf)

\*2: [https://www2.nict.go.jp/commission/keiyaku/r04/r04\\_yakkan.pdf](https://www2.nict.go.jp/commission/keiyaku/r04/r04_yakkan.pdf)

6. 委託研究における評価及び研究成果等

7. 調達物品の取扱い



## 8. 応募に必要な書類

- 応募には、機構所定の提案書類（提案書及び別紙1～11）の提出が必要です。これ以外の形式で作成されたものでの応募は受理しません。
- ①から⑧については、全ての提案者の提出が必須です。⑨から⑬については、該当する提案者のみ提出が必要となります。

- ①提案書
- ②必要積算経費一覧表（別紙1）
- ③提案概要図（別紙2）
- ④ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況（別紙3）
- ⑤コンプライアンス体制の整備状況等（別紙4）
- ⑥情報セキュリティ管理の実施体制（別紙5）
- ⑦研究者の経歴等の状況（別紙6）
- ⑧研究活動に係る透明性確保に関する誓約書（別紙7）
- ⑨会社等要覧（別紙8）
- ⑩会社等要覧の添付書類

※国立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学法人、学校法人、独立行政法人、国立研究開発法人、一部上場企業等の場合は⑨⑩ともに提出不要です。

（次ページに続く）

## 8. 応募に必要な書類

(前ページからの続き)

- ⑪ パーソナルデータチェックリスト (別紙9)  
※ パーソナルデータ (個人情報を含む) を取り扱う提案内容の場合には、別紙9の提出が必須です。
- ⑫ 人を対象とする研究のチェックリスト (別紙10)  
※ パーソナルデータチェックリスト (別紙9) を提出する場合、別紙10の提出も必須です。
- ⑬ 動物実験の実施体制 (別紙11)  
※ 提案内容に動物実験が含まれる場合には、別紙11の提出が必須です。

## 8.1 提案書について

- 提案書様式の吹き出しに従って提案書を作成してください。
- 研究計画書において、「7. 提案に当たっての留意点」に挙げている事項を全て記載してください。

## 8.2 必要積算経費一覧表（別紙1）について

- 直接費、間接費（一般管理費）、消費税は以下のとおりです。
  - 直接費…「物品費、人件費・謝金、旅費、その他」で構成されます。
  - 間接費…一般管理費です。直接費に一般管理費率を乗じた額とします。
  - 消費税…直接費と間接費の合計に対して、**10%**で計算します。
- 「事務マニュアル（令和4年度版）」の「7 計上経費の費目」に基づいて、研究費の積算を正しく行ってください。
- 研究開発項目の本質的な部分（研究開発要素のある業務）を外注することはできません。
- 一般管理費率については、財務諸表の記載事項を基に算出した値（ただし上限は30%）となります。（**提案が採択となった場合、契約時の直近の財務諸表で改めて算出いただきます。**）
- 研究計画書における「予算」は、一般管理費、消費税を含む「総額」です。**「予算」の上限を超えた提案は受け付けません。**

### 8.3 ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する 認定等の状況（別紙3）について

- 「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」に基づき、ワーク・ライフ・バランス等推進企業の評価項目を設定し、加点評価します。
  - 厚生労働省による下記の認定状況等を記述してください。認定等を受けていない提案者も提出が必須です。
    - － 女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業）
    - － 次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業）
    - － 若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）
- 複数の研究機関で応募する場合は、代表提案者と全ての共同提案者がそれぞれのシートに記入してください。

## 8.4 コンプライアンス体制の整備状況等（別紙4）について

- 「受託者は、委託業務の実施に当たり研究活動に係る不正行為（以下「不正行為」という。）の十分な抑止機能を備えた体制整備等をはじめとする不正行為の発生の防止のために必要な措置を事前に講じなければならない」こととしています。
- 提案者のコンプライアンス体制の整備状況等（責任体制、規定類及び研究倫理教育等）について記載してください。
- 複数の研究機関で応募する場合は、代表提案者と全ての共同提案者が各々別々に作成してください。

## 8.5 情報セキュリティ管理の実施体制（別紙5）について

- 情報保全の履行体制を確認できる実施体制図、社内規程等を記載してください。
- なお、「情報保全の履行体制を確認できる実施体制図」とは、単なる組織図ではなく、「履行体制を組織のどの部署がどのようにチェックしているか俯瞰できる資料」のことです。
- 複数の研究機関で応募する場合は、代表提案者と全ての共同提案者が各々別々に作成してください。

## 8.6 研究者の経歴等の状況（別紙6）について

- 全ての研究者について、経歴等の状況を記入してください。
- 複数の研究機関で応募する場合は、代表提案者と全ての共同提案者が各々別々に作成してください。

## 8.7 研究活動に係る透明性確保に関する誓約書（別紙7）について

- 全ての研究者がそれぞれ作成し提出してください。なお、当該誓約書に加えて、所属機関に対して、当該情報の把握・管理の状況について報告を求めることがあります。
- 誓約に反し適切な報告が行われていないことが判明した場合は、研究課題の不採択、採択取消し又は減額配分とすることがあります。

## 9. 応募の手続き

(1) 提出期限：2022年8月2日（火）正午（必着）

(2) 提出するファイル形式

提出する提案書類の電子データの形式は、以下のとおりです。PDF形式のファイルについては、Webサイトからダウンロードした様式をPDFに変換して提出してください。別紙様式は結合せず、別々にPDFに変換してください。

- PDF形式のファイル：提案書、別紙1～11、会社等要覧の添付書類  
以下の形式のファイルも併せて提出してください。
- MS-Word形式のファイル：提案書
- MS-Excel形式のファイル：別紙1、別紙3、別紙9、別紙10

(3) 提出方法

- 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を利用して提出してください。
- e-Radでの応募単位は「研究機関単位」です。機関のIDが必要です。

## 10. 不合理な重複及び過度の集中の排除

機構では、「競争的資金研究費の適正な執行に関する指針」（平成17年9月9日 競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせ（令和3年12月17日改正））等を踏まえ、不合理な重複及び過度の集中を排除し、研究活動に係る透明性を確保しつつ、エフォートを適切に確保できるかを確認するため、以下の措置を講ずることとしています。

- (1) 応募内容に関する情報の共有
- (2) 競争的研究費及びその他の研究費の応募・受入状況等の確認
- (3) 研究機関における利益相反・責務相反に関する規程の整備状況等の確認
- (4) 研究者が関与する全ての研究活動に係る透明性の確保



11. 不正行為に対する措置及び研究資料等の保存

12. 安全保障貿易管理について

13. その他

問い合わせ先： 情報通信研究機構 イノベーション推進部門 委託研究推進室  
中後 明、近藤 健、遠田 麻衣子  
Tel： 042-327-6011  
E-mail： [info-itaku@ml.nict.go.jp](mailto:info-itaku@ml.nict.go.jp)

質疑応答